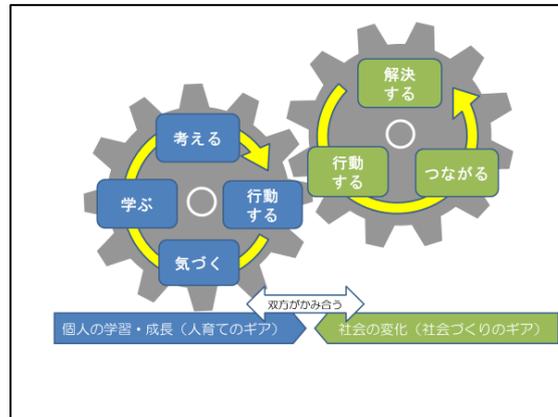


計画本文中の「学ぶ（学び）」の使い方について

1. ギアモデルのステップ「学ぶ」について

【現行】



人育てのステップ：気づく⇒学ぶ⇒考える⇒行動する

◆過去の協議会や審議会での指摘

ギアモデル全体が「学ぶ（広義）」ことを示しており、人育てのギアに含まれる「学ぶ（狭義）」のステップの意味と混同する。

広義：「気づく、知る、考える」の一連の動作
 狭義：「調べる」、「体験する」など知識を得る動作

◆第五次計画での対応（R3. 第2回目の協議会での議論結果）

ギアモデルのステップの一つである「学ぶ」の意味や説明については、「学ぶ」の定義を示すのではなく、以下のとおり例を示すこととする。

<例示>本モデルにおいて「学ぶ」とは、自分で調べたり、体験したりすることにより、気づきを深めることをいう。

2. 第五次計画本文中の語句「学ぶ（学び）」について

◆過去の協議会や審議会での指摘

本文中に含まれる語句「学ぶ（学び）」は、広義・狭義の意味が混同している。

◆第五次計画での対応

滋賀県環境学習推進計画内においても「学ぶ」は基本的に狭義の意味で使用する。そのため、下記のように対応する。

- ・ 広義の「学ぶ」（気づく、知る、考えるまでの一連の動作）を意味する場合
 ⇒「学び、考える」や「学習する」に言い換える。